第767號　昭和28年（1953）2月28日（土曜日）　磐城日日　昭和25年10月6日第三種郵便物認可　昭和26年7月1日特別扱承認684號　【3】（除月曜）

磐城日日

發行所
社團法人 磐城日日新聞社
福島縣小名浜町港通51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人 長瀬芳郎

商工港都えの布石
商工會議所設立へ
小名商工会に準備委員会

小名浜商工会は終戦後各町内商店街毎に組織された各商店会を網羅して財団法人に組織され、昭和二十六年十一月十四日正式に發足したものであり今日迄の優秀な実績から商工會議所への昇格發展は必然なりとして、從來小名浜一部業者も加入して居た平商工会議所專務理事草野四郎氏も極力應援推薦を約していると云われ、その前途は非常に明るいものとみられている

商工会議所設立に際しての條件として次の様な資格が必要とされている

▽最低百万円を確實に徴收し得る基礎を持つ
▽最低五人の職員を使用する
▽会員は四百名程度を有する
▽事務所と会議所を有する
▽市又は市と同様に商工業が發達している事等があげられるが、小名浜商工会の事業予算は百五十万圓であり、会員は現在三百八十六名を擁し問題と思われる市は市同様のとある最後の項については日本商工会議所法によれば農業に從事する者を除いて七十%以上の業者とあるからして小名浜町の場合全資格を具備して居る事になり、問題は平商工會議所の承認を得、縣の認可を得て、殘る通産大臣の認可ということになり今後の運動如何となる

しかし充分な見通しを持つていると商工会では語つて居り、会議所設立後の活躍が今から期待されている

また將來性から云つて江名、豊間、鹿島、泉の隣接各町村業の協力を求め共に設立に努力したいと次のように語つている

先進都市の情況に見るように商工会議所が設立された場合の業者の福利は非常に增大されまた各地方町村の發展にも大きな役割を持つているのであります

福島の商工会議所が会頭選擧に當つてあれ程の騒ぎをしている事を見ても如何に会議所の役割が大きいかを知る

說解
商工會議所の必要性

小名浜町は從來漁港として發展して來たが、今日地の利を得て脚光を浴び商港えの發展、工場誘致を町是として明日えの躍進に胎動している、そこに商工會議所の必然性が生じて來る

商港、工場誘致は單なる漁村から商工都市えの發展であり、またそれは商工会議所が陣頭に立つてやらなければならぬ仕事であり、やるべき仕事である、從來やゝもすれば排他的に獨善的に自己の利益のみを固執して來た小名浜地區の業者は中央の狀勢にも疎く、進路を誤まらしめた傾向が强よかつた、また町が商港、工場えと發達すれば當然業者の指導、相談に當る經濟機関が必要となつて來、それは商工會議所より他になくなるのである、そこに强力な商工會議所の設立が必然的に必要となつて來るのであるそれは業者の總意の具申機関ともなり、中小企業者の深刻な金融難の打壞策を講ずる道ともなるのである

特に商工会と商工会議所の相違は全日本商工会議所連盟（全日商連）に加盟し全國的な「組織をバックに國庫補助縣費助成を受ける權威を有する事で、そこに中村、原ノ町に見る様な税務署が會議所の同意、閲覧を得なければ課税出來ぬと云う様な權威が生ずるのである

注目すべき事は會員の点で日本商工会議所法に依れば「經濟に關連性を持つ団体又は個人」となつているので事實上、地球上に生棲する人間で經濟生活を營まぬ者は殆ど一人もなく、商工会議所は單なる業者の利益を擁護するのみに止まらず、會員として消費者も入會出來、相互の意志を反映して經濟生活を豊かにし向上させて行こうとする所である

小名浜に商工会議所が設立されゝば地区署行政管下の三町二ヵ村が小名浜の港を中心に工場誘致に力を入れ地方の指導者として業者、消費者の經濟生活の擁護發展に活躍するであろう、しかし反面戰前全國で百五十余であつた会議所が現在四百一五と乱立しておるので國会では議員提出に依つて「商工会議所法」の制定が運動されて居る関係上あまりな樂觀は危險視されるのではないだろうか

道路擴張を陳情
植田都市計畫進む

植田町都市計畫委員代表成瀬巴三氏、中根覺衛氏、下山田勇氏、佐藤三太郎氏、布施宗氏、山野目植田土木監督所長の一行八名は二十三日出縣植田町の都市計畫による植田駅前擴張に伴う下水溝の設備變更、植田本町通り東邦銀行前より後宿消防道路へ貫通する新設道路、植田町本町通りより法務局敷地内を經て金畑道路へ通ずる新設道路、金山地内への電燈架設促進の緊急問題に関して陳情二十四日歸町した、尚金山の電燈架設は富久梨旅館及醫田部落までは点燈した

近世小名浜變災記 ③

高萩精玄

②

天保七丙申年、春雨三月以來注雨繁く夏土用中に至り候て、寒氣募り、盆前天竺相見ず、五穀等實入らず、大凶作。荒年と相成る。翌年丁酉年とも田畑とも作付けなく、今年御上様より御手當下され候へども、植付け成り難く、兩年とも大饑饉に相成り、三四月中、麥作實入り申さず候間男女多く餓死す。

今年五穀の値段を覺え附く。

一、白米壹升代　四百三十六文
一、つき麥壹升代　三百八十二文
一、眉麥壹升代　三百八十文
一、小麥壹升代　二百文
一、から麥壹升代　百六十八文
一、大豆壹升代　二百五十二文
一、小豆壹升代　三百五十二文
一、そば壹升代　百六十文
一、荒目壹升代　六十四文

八文

一、金壹分につき味噌七貫五百匁
一、同壹分につき鹽貳斗五升（大凶作の事）

註。天保七年は、仁孝天皇の御代。西歴一八三六年。十一代將軍家齋の時に当る。

前述の「近世の荒政」には、「まづ天保四年六月、出羽大洪水。奥羽饑饉。八月には関東に大風雨あり。天保四年五年ともに米價が高く、同六年旱ツ地震等によつて奥羽、関東その他の地方が凶作となつた。同七年に至つては、氣候不順にして六月土用になるも北風があり、冷氣が强く朝夕は綿入を用ふる時さへある程であつた。加うるに九月下旬大霜が降つて氷りたるがために、稻の穗はシイナとなり、田畑諸作共に實らざる狀態で、ために全國平均二厘四毛作となつた。茲に於て諸國饑饉となり、奥羽が最も甚だしかつたのである天保の饑饉も亦天明のそれと同じく、冷害を受けること甚だしく、かつ連續的なるを特徴とする（中略）また打毀し、百姓一揆も各地に起つたが、大鹽の亂の如きは、その著名なものである。天保の饑饉対策も亦天明度のそれと同じく、窮民救助、救小屋の建設、御救普請等が行はれ、また種々の米價の調節策がとられた」と記されておる。こゝも亦、かなり長きにわたつて引用した。參考にしてもらいたい。

小名浜代官として有名な島田帶刀が、獨斷をもつて、倉をひらき窮民を賑わしたのは、天保四年の時のことである。又「石城鄉土史大觀」には、

天保四年六月、陸奥岩代、磐城の諸國氣候寒冷にして、田畑不毛なり、且つ洪水あり、人民の苦しむこと限りなし。

天保六年九月二十三日、大霜。仝年仝月二十五日、再び大霜、損害甚だし。

と、「四家又左衛門翁遺書」を載せてある。

登龍門は狹い
高校生の募集要項決る

卒業、新入学期を目前に上級学校進学志望者は年余に亘る勉強努力が愈々結実して憧がれの校門を正服の胸もときめかせてくぐり得るか否か、今年は應募中学生の增加に比して高校の募集人員は昨年と變らず、狹き登龍門となる模様である

小名浜在町高校の生徒募集要項は次の通り

◉小名浜高校
▽人員……普通科男女約一五〇名　商業科男女約四〇名、被服科女約五〇名
▽出願手續……期日三月一日より十日迄、願書…出身学校長より直接送附、検定料…縣收入印紙百円貼付
▽學力檢査……三月二十二日午前十時より午後三時迄、課目…國語、社会數学、理科、音樂、圖工保健体育、職業家庭
▽發表……三月二十五日午前十時
◉同校定時制
▽人員……普通科（夜間）…男女約五十名、別科…（晝間）四〇名
▽出願手續……期日…三月二十一日から三十一日迄、願書…身体檢査書、履修證明書、成績證明書を直接に提出する　檢定料…同縣
▽學力檢査……四月八日午前十時
◉水產高校
▽員數……漁撈科…約四十五名、製造科…約四十五名
▽受付期間……三月一日より十日迄
▽學力檢査……三月二十二日午前十時より午後三時迄
▽合格發表……三月二十五日午前十時
◉同校別科電氣通信科（修業年限一年）
▽員數……約三十名
▽願書受付……三月二十一日より三十一日迄
▽學力檢査……四月六日午前十時より
▽發表……四月八日午前十時

各種印刷の御注文は長瀬

外資導入？
いな外車購入である
スマートなその容姿と
乘心地よきクッションとは
共に皆さま方より御好評と
御愛用とを賜わつて居ります
御試乘を切に御待ちして居ります
小名浜町第二小學校前
小名濱タクシー
電話六四番

目
品
業
營
一般建築用材
建具家具材
秋田材
ベニヤ板各種
ラワン板、天井板
箱材
大口販賣は特に御相談に應じ良心的サービス致します
遠近を問はず無料配達致します
井澤林産企業組合
小名濱出張販賣所
電話小名浜一〇四番

入學の御用意
經費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい
文房具学用品——価格仕奉
学生帽一五〇円—六〇〇円
ランドセル牛皮一五五〇円
ゾーリ袋スリツパ上ゾーリ
中学高校用手提カバン各種
学童服セーラー服特別仕奉
ギヤバ中学高校用服新入荷
運動靴雨靴長洋傘新安値
学生向服地春向婦人セーター
化粧品柳屋メヌマジユユパピリオ　80円
今評判の『ちどり』フトン綿
可愛い子には、丈夫なランドセルを、どうぞ！ちよつとのことで、あとあと修理の苦労が皆無!!
千マーケット
小名浜第二小学校前電二九七

第767号　昭和27年（1953）2月28日（土曜日）　日日　磐城日日　昭和26年7月13日　第3種郵便物認可　（毎月除）
昭和26年7月13日　第3種郵便物認可　運輸省特別扱承認684号

町長賞は第七松丸
小名濱底曳表彰式
廿八日盛大に擧行

小名浜町機船底曳網漁業協同組合の優良漁船、乗組員の表彰受與式は本廿八日午前十時から仝組合事務所階上會議室で水産庁機関を始め町内名士、有誼團体幹部六十余名を招聘して盛大に開き、優良漁船に大定丸（船主久保木定正氏）ら十隻、優良乗組員三十七名にそれ〴〵優賞旗及び表彰状を贈る、なお町長賞としては第七松丸（船主馬上正美氏）に優賞旗、田澤留五郎氏には表彰状が受與される

漁船、乗組員表彰者

▽漁船の部（番號は順位カッコ内は船主名）

①大定丸（久保木定正）②第三觀音丸（齋藤誠吾）③勇丸（田島繁夫）④第三徳榮丸（太田宣一郎）⑤第一三王丸（比佐庄太郎）以上廿七年春職分

①第十五共徳丸（柳内無人）②第七松丸（馬上正美）③第一三王丸（比佐庄太郎・④第二寶来丸（壽々丸）▽宍戸利次（第五松丸）▽五十嵐正吉（第三福榮丸、▽中山文治（第一労聖丸）▽戸石幸三郎（第十五共徳丸）▽小松長之進（第三福丸）▽阿部松太郎（八崎丸）▽鹽田富二郎（加茂丸）▽金成昭平（天受丸）▽菅原由松（第一千代丸）▽斎藤堅吉（第二共運丸▽佐藤松之助（第三大高丸）▽馬目喜八（第十天榮丸）▽菊地虎雄（第三共徳丸）▽二階堂寅男（眞盛丸）▽長井國夫（八龍乃）▽船橋倉松（第七觀音丸）▽及山信男（第二旭日丸）▽阿部時（第一浅江丸）▽青木昭二（第二寶生丸）▽渡辺富藏（第三觀音丸）▽和田安吉（大定丸）▽上野富次郎（第二神洋丸）

▼優良漁船（優勝旗受与）

第七松丸…船主馬上正美

船頭鈴木源之助

▼漁船優良乗組員

田澤留五郎　第二共運丸、

ハ　一般乗組員の部…佐藤太郎（第二明神丸）▽馬目三郎（第二寶来丸）▽鈴木芳江（第七松丸）▽丹野酉太郎（第二重運丸）▽江尻正信（第五稲荷丸）▽柴正男（第二三王丸）▽中村一郎（第五福丸）▽佐藤昭二（第七八崎丸）▽鎌倉六一郎（第三神丸）▽加澤一枝（第三福洋丸▽小野武重（第三千代丸）▽佐藤鐵造（第三共運丸）▽太田雄二郎（勇丸）▽秋野二郎（

ロ　通信士の部…▽阿部久仁夫（加茂丸）▽鴨原文雄（恵比壽丸）▽佐藤鐵三（第三神洋丸）

イ　機関士の部…▽庄子鬼市（第三福丸）▽加藤良作（裕光丸）▽田村清藏（第七八崎丸）

▽漁船優良乗組員（カッコ内所属船名）

イ　機関士の部…▽庄子鬼市（第三福丸）▽加藤良漁船に大定丸（船主久保木定正氏）ら十隻、優良乗組員三十七名にそれ〴〵優賞旗及び表彰状が受與される

漁船、乗組員表彰者

▽漁船の部（番號は順位カッコ内は船主名）

①大定丸（久保木定正）②第三觀音丸（齋藤誠吾）③勇丸（田島繁夫）④第三徳榮丸（太田宣一郎）⑤第一三王丸（比佐庄太郎）以上廿七年春職分

①第十五共徳丸（柳内無人）②第七松丸（馬上正美）③第一三王丸（比佐庄太郎・④第二寶来丸（壽々丸）▽宍戸利次（第五松丸）▽五十嵐正吉（第三福榮丸、▽中山文治（第一労聖丸）▽戸石幸三郎（第十五共徳丸）▽小松長之進（第三福丸）▽阿部松太郎（八崎丸）▽鹽田富二郎（加茂丸）▽金成昭平（天受丸）▽菅原由松（第一千代丸）▽斎藤堅吉（第二共運丸▽佐藤松之助（第三大高丸）▽馬目喜八（第十天榮丸）▽菊地虎雄（第三共徳丸）▽二階堂寅男（眞盛丸）▽長井國夫（八龍乃）▽船橋倉松（第七觀音丸）▽及山信男（第二旭日丸）▽阿部時（第一浅江丸）▽青木昭二（第二寶生丸）▽渡辺富藏（第三觀音丸）▽和田安吉（大定丸）▽上野富次郎（第二神洋丸）

▼優良漁船（優勝旗受与）

第七松丸…船主馬上正美

船頭鈴木源之助

▼漁船優良乗組員

田澤留五郎　第二共運丸、

私の作文集

眼に見えぬ燈台

小名浜第二中学校一年　田上路子

暗い夜、寒風の夜、當てどない海の上を旅ゆく船に、ポッツリと一つ、岬に光る燈台こそは、船への一番大きな賴みの綱となるでしょう。しかしこの燈台も、雨や霧などの夜は、全然見えず沖合を航海する船はどんなにも心細く、賴りないことでしょう。

しかし、文明はこれらの不便を見事に解決して濃霧でも暴風でも、視界に関係のない電波を使つて光の代用と致しましたこの設備は陸上では、無線標識局といつて、現在燈台設備のある町はほとんど設置されて居り、晝夜の別なく、眼に見えぬ電波の燈台を、発射しても居ります。豊間の鹽屋岬にも、この無線標識局がありまます。船の方では無線方向探知機といつて、電波の來る方向を、丁度眼で光りの方を知るのと同じく、識別出來る裝置をもつて、たえず沿岸各標識局の方向を探知測定して、正確な自船の位置や、航海を海圖上に求めて居ります。

私達の眠つているあいだも、お正月の休みの内もたえまなく、何十何百という方向無線が海の上を交さくし、貴重な船や、人命をまもつていてくれるのです。

文明とはたゆまない人智の努力が、多數人類のための、利器を生み出すことを云うのではないでしょうか。

海

小名浜第二中学校一年　作山友美

「山を靜とすれば、海は動を表わしてあます處ない」何時からか知らないが僕の知つている言葉である。だが、海の大きな動の中にも又靜動の二面がある、と思う僕は潮の香と海鳴りの中に育つた浜つ子である。山にも同じく靜動の二面があると思つている。

靜かな海は、人の和を思わせる。手と手を取り合つてゆれ動き、遠くつらなり、外國につづいているのだ。その海に太陽がさんさんと輝けばどこからともなく豊漁の匂いが漂つてくる。漁港として昔から發展してきた僕達の町小名浜は、一度大漁のサイレンが鳴りひびくや、にわかに活氣をとり戻し、漁港小名浜の面目を新たにするのである

荒れ狂う海は、大海の動を余すところなく示しているものだ。たけり狂う波は、岩をかみ砂をなめ、しぶきとなつて飛びちり、晝も夜もどうどうとひびき渡り人々を不安の底に沈め、一ねむりもさせてくれない事もある「俺達の樣に男らしく岩をもくだく元氣を持て、どんな困難にも体当りで行け」と教えている樣だしかし、あまりにもその力が激し過ぎて僕達はその脅えの中にたまらない不安を感じとつてしまうのである。今までにどれだけの難破船を見てきたことか。大海風のあとのしずけさの中に、いたましい被害を見い出すことは本当にかなしくさびしいことである。

海の動の殘して行つた教えは「俺に負けるな」ということであろう。それもそのはず小名浜の港灣設備もいよいよ充実を增してきた。さらに又、新たな築港計畫もおし進められているのである。僕は保安廳の人達を知つている。漁業と航海の安全のために荒海とたたかう勇ましい人達である。その体驗を生かして種々の機械と設備が造られて行くのである。それは「俺に負けるな」と怒る海の大いなる動のお蔭であろう。海の動は僕達に勇氣と根氣とを與えてくれるものである。

結論は、海の靜動どちらも人間社会の繁榮增進の助けとなつて行くものであると僕は思うのである。

八代氏の講演會
聽衆に多大の感銘

江名町公民館では文化行事の一環として廿七日午後二時より第二小学校講堂で石城郡郷土史後援會の下に、本縣が生んだ考古学の權威者八代義定氏を招聘して江名町を主体とする「郷土史一般に關して」の講演会が堂々二時間余行なわれ、學校教育者を始め多數の聽衆に多大の感銘を與えて閉会した

菊田方部小中校連協

菊多方部小中学校校長數務主任、連合協議会は二十六日午前九時より勿来町公民館会議室に管内の校長數務主任等約五十余名が集つて開き本年度予算決算教育活動の反省など

技工支部結成（水素）

先きに社員に雇傭された日本水素の技工支部（一七四名）の結成支部大會は愈よ二十七日午前十一時半より開き、議長団選出のち、役員正副支部長の選擧を行つた

學用品一千二百円
入学用品値段調べ

梅一輪々々の暖さにつれてやがて櫻の花も咲き初め子供達は入學に胸をふくらませて來る、反対に母親にとつては子供達が嬉しがれば嬉しがる程胸を痛めるものがあるのではないだろうか

一寸入學用品の正札をのぞいて見ると次の樣な値段が出ている、學用品一揃ならまづ千三百円位となり、やはり胸痛いものがある樣である

▽カバン…種々品質によつて値段も張つているが牛皮で千八百圓～二千五百円位、豚皮だと七百五十円位、当世流行のビニール製品は裏皮付きで八百圓、布裏だと七百圓位ズック布製は五百円位からある

▽お辨当袋…色とり〴〵で百六十円～百八十円位

▽草履袋…裏ゴム引きで六十五圓～八十五円位

▽筆入れ…丈夫一式のブリキ製迄あり二十五円～百五十圓位

▽石板…四十五円位

▽ノート…一册十円位からあり一揃で五十円程度

▽クレヨン…メーカー品種にも依るが一年生用は二十五円位からあり百四十円位

▽鉛筆…一ダースで五十五円位

▽石筆…一本一圓五十銭位

▽拭きもの…十円位

▽消しゴム…三円から五円位

▽下敷き…十円～二十円位

また一式取まとめた入學用品セットなども販賣されている（昭和堂文具店調べ）

服裝シヨー
福澤服裝學院

勿來町驛前にある福澤文化服裝學院（院長福澤シゲ氏）では二十八日午後一時より勿來町公民館に於いて新春を飾るファッションショーを開く

東北一の火薬庫
勿來に三百余萬で完成

勿來町窪田大田銃砲火薬店（關根忍氏）の火薬倉庫建築は昨年三月二十九日より同町窪田御前崎地内に敷地二千坪、建坪七百坪、工費約三百余万円で工事施工中であつたがこの程完成去る十二日縣方事務所より渡邊寅雄氏、石城地區の両技師が來町檢査の結果、東北一の出來榮であると太鼓判を付けて歸廳したこの火薬倉庫は關根氏の直営工事で竣工したもの

小野一雄氏妻逝去

植田町大字植田字仁井田日本改進黨中央執行委員小野一雄氏の妻みや子さん（三六）は二十六日朝死亡したみや子さんは十年前頃より心臟辨膜症で闘病生活中であつたが昨年十一月頃より急に悪化していたもの、葬式は三月一日自宅で執行する

天氣豫報 28

（本日）北西の風から南寄りの風に變り、良い天候ですが、午後にはうす雲が多くなりましよう

上映中 デマ日28
母の人二
泉の法魔ザーター
★ 美館 ★ 仝

求下宿希望者
御希望の方は御來社下さい
姓名在社

道書 会員募集
小・中・高学生
一般科
※夜間部もあり
小名浜町港廻り【磐城日日前】
英友書道会
電話（呼）三八七番

女工さん大募集
一女工さん　十六才以上五〇名
一女中さん　十六才以上　二名
一作業　みりん干製造
一委細面談の上
一場所　小名濱町古港三九
日東物産商會
電話三一五番

外科・整形外科・性病科
内科・胃腸科・小兒科
婦人科・歯科・レントゲン科
平市南町二十三（電一〇七）
醫療法人
松村病院
院長　松村亨
大田耕作
河島清作
岸本隆夫
松村政次
新妻春治
菊地政次
看護婦募集
放射線科
薬剤師

園兒募集
一、満四才より學令までの幼兒
一、募集人員　五〇名
一、申込期日　三月二〇日まで
小名浜町定西
私立小名浜幼稚園
電話四三九番